



# 清 流

平成21年8月1日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 中村幸男

6月定例会



花火大会

傍聴席から一言、臨時議会

⑤  
⑦  
⑧

一般質問3人ここが聞きたい

③  
④  
⑤  
⑦

論点Q&Aそこが知りたい

③  
④

議会構成も新たに

②



あゆまつり 「かかし」

# 6月定例会

6月定例会は、10日開会、11日まで2日間の審議が行われた。案件は、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問案件1件、教育委員会委員等の任命に関する同意案件2件、専決処分報告及び承認案件5件、報告案件2件、条例案件1件、平成21年度一般会計等補正予算案件2件、陳情案件2件、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任、その他の案件等が上程され、全て原案どおり可決した。また、発議による意見書の提出2件についても原案どおり可決した。なお、一般質問には、3人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

## 一般会計補正予算

6782万3000円の追加補正を可決した。主なものとして、

- ①安平・上揚地区水道事業への出資金に代え、水道事業会計への繰出金 6180万円
- ②宮内地区活性化支援事業委託料 103万2000円
- ③地域見守りふれ愛事業委託料 198万8000円
- ④農産物等販売促進事業委託料 305万2000円
- ⑤産業後継者支援事業委託料 209万8000円



## 甲佐町商工業活性化対策事業委託料

- ⑥妊婦健診委託料 172万3000円
- ⑦園芸新たな挑戦強化対策事業費補助金 792万2000円
- ⑧455万1000円

## 人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦に係る諮問については、町長の推薦理由に同意し、平成9年3月15日より人権擁護委員を務められている、岩下一区の上妻毅氏を適任とすることに決定した。



上妻 毅氏

## 教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に溜瀧誠也氏が選任された。溜瀧氏は、御船中学校長を最後に退職された後、平成13年6月12日から甲佐町の教育長として8年間、その職責を全うしてこられた。また、教育行政における豊富な経験と見識が高く評価され、教育委員会委員として適任であるとのことで、全会一致で同意した。



溜瀧 誠也氏

## 議会構成も新たに

各委員会の構成が次のとおりとなった。

### 総務文教常任委員会

- 委員長 本田 新
- 副委員長 本郷 昭宣
- 委員 中村 幸男
- 委員 井芹しま子
- 委員 宮本 修治

### 産業厚生常任委員会

- 委員長 緒方 哲哉
- 副委員長 北畑 常博
- 委員 西坂 親
- 委員 山内 勲
- 委員 渡邊 俊一
- 委員 宮川 安明

### 議会運営委員会

- 委員長 西坂 親
- 副委員長 本郷 昭宣
- 委員 本田 新
- 委員 緒方 哲哉

# ここが知りたい

# Q & A



地域見守りふれ愛事業の会場となっている白旗福祉ふれあいセンター

## 6月定例会 質疑より

### 地域見守りふれ愛事業

**Q** 地域見守りふれ愛事業として委託料が予算計上されているが事業の内容は。

**A** 白旗地区において放課後健全育成事業を立ち上げたいという話があっている。

現在は保護者で組織する団体にスタートされている。国、県の補助対象事業は利用者が10名以上で年間250日以上開設することが条件となっているが、白旗地区は現在利用者が10名未満である

ので補助対象とならない。そのため、ふるさと雇用特別基金を活用して、児童と高齢者を対象に地域見守りふれ愛事業として取り組むものである。

### 園芸新たな挑戦強化対策事業

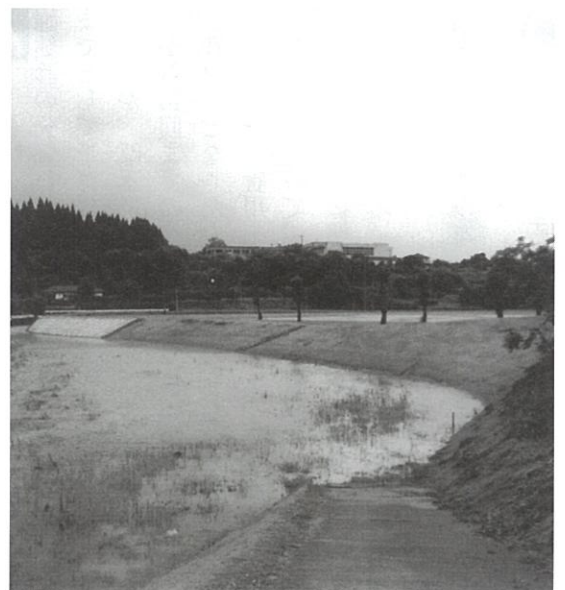
**Q** 園芸新たな挑戦強化対策事業の内容は。

**A** 船津地区で、甲佐西部地区組合が設立され、トルコギキョウ、クジャクアスター、小菊などを栽培されている。その苗はすべて購入されているが、コスト削減のため育苗ハウス、播種機の導入をこの事業を利用して取り組まれる。

県補助金として、事業費の三分の一が補助される。

### 竜野川の河川管理

**Q** 竜野川の河川管理委託料について内容及び委託料の財源は。



竜野川河川公園

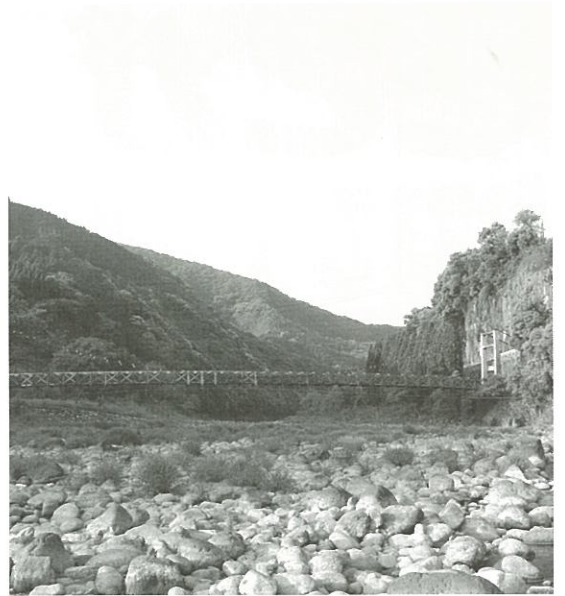
**A** 竜野川河川管理委託料については、竜野川の城平地内に県の河川工事でできた公園の管理料である。

県は町と管理委託契約を結び、町は地元の竜野地区環境施設管理組合と再委託して管理していくものである。委託料については、県補助金です。

### 公的年金から個人町民税の特別徴収

**Q** 平成21年10月から公的年金に係る個人町・県民税の特別徴収の内容を。

**A** 改正前では、給与所得及び年金所得以外の事業所得に係る分の所得割も特別徴収するとなっていたが、今回の改正で年金以外の所得にかかる町・県民税は納付書・口座振替または給料引き落としで収める。したがって公的年金からの特別徴収は、公的年金所得に係る町・県民税のみとなる。今年度は9月までは納付書または口座振替でお支払いいただき、10月から残り半分を年金から納めることになる。



宮内地区の活性化策は

**宮内地区活性化支援事業**

**Q** 宮内地区活性化支援事業委託料として予算化されているが内容は。

**A** 宮内地区の活性化を図るために、今後どうすればいいかということ、宮内地区の区長さんをはじめ体育協会、老人会、子ども会、PTA等の組織で構成された宮内地区活性化委員会が設立されている。この委員会は地域活性化づくりの母体であり、町と一緒に活性化のための計画を策定することになっている。

そのために必要な事務等を行うため、国のふるさと雇用特別交付金を利用した3カ年間の人件費及び事務費である。

**地方消費者行政活性化交付金**

**Q** 地方消費者行政活性化交付金とは。

**A** 最近、非常に消費者トラブルが多くなっている。そのため、住民に対して消費者トラブルに對して理解を深めていただく必要がある。この事業は本年度から23年度ま

での事業で、事業の内容は消費生活者の相談スタートアップ事業及び消費者行政オリジナル事業から成り立っており、消費者の生活の窓口の機能強化のためのパソコンの配備、啓発用のチラシ等を作成し、各家庭に配布してトラブルを防ぐこととしている。

**国・県補助事業に町補助の上乗せ及び対象機種への拡大**

**Q** 現在、県補助事業を実施した場合に町の上乗せ補助がないが上乗せ



補助の上乗せ、機種への拡大は

できないか。また農機具導入についてはコンバイン、トラクター、田植機については補助対象であるが他の機種についても補助の拡大はできないか。

**A** 国・県の補助事業に町の上乗せ補助をということであるが、趣旨について十分理解はできるが財政的な問題もあり、今後の検討課題にさせていただきます。機種への拡大についてはコンバインだけだったのをトラクター、田植機まで拡大した。これについても検討させていただきます。

**妊婦健診**

**Q** 妊婦健診委託料が追加で予算計上されているが、追加の理由は。

**A** 当初予算では、妊婦健診の公費負担を5回までとして予算措置をしていたが、改正により4月から14回までの健診が公費負担となったため、今回9回分の費用を追加した。したがって、妊婦健診は14回まで標準的な健診が無料となる。

**農産物販売促進事業**

**Q** 農産物販売促進事業

**業委託料の内容を。**

**A** ろくじ館は現在、青空市場運営委員会のほうで管理運営をされているが、一番問題なのが出品するにしても枠があり、それを超えたら新しくレジを買わなくてはならない。また出品される方がレジの当番をしなくてはならないなどがある。そのような問題を解消するため、今回、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用しながら販売の活性化を図り、ろくじ館が活性化するように取り組みたい。



ろくじ館の販売促進と活性化を

# 一般質問 と答弁

ここが  
聞きたい



北畑常博 議員



## 農業問題について

北畑議員

農業問題についてお尋ねする。

甲佐町は、一次産業の町、教育の町と言われてきたが、町として農業に従事する若い人が定着す



農業体験

るような方法をどうするかお尋ねする。

奥名町長

後継者育成については、本町の農業の現状を的確にとらえ、農業所得の安定につながるような農産物の産地づくり、ブランド品づくりが有効な手段だと考えており、本年度から特産品開発事業に取り組む。三年間の継続事業で実施し、農業者が経営に対して意欲の向上が図られ、後継者が育つような環境づくりを整えていきたい。

北畑議員

産業後継者育成事業について、本年度はどのよう to 実施されるのかお聞きしたい。

本田産業振興課長

本年度においては、後継者対策の結婚対策事業を山都町を参考に取組みを考えている。

事務局職員を一人、ふるさと雇用の方でお願いをし、専属的な取組みをしていきたいと考えている。

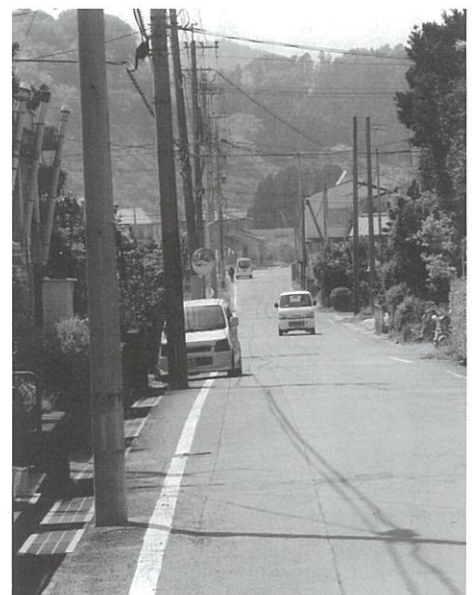
## 道路網の整備について

北畑議員

町では、道路整備について、プロジェクトチームを立ち上げられているが、現在の検討状況をお尋ねする。

師富副町長

道路網については、骨格道路網の整備促進、生活道路の整備促進、歩行者の安全対策、道路整備事業の透明化など、そういった内容の柱を設け、その各項目について方針



町道作替内田線

の検討を現在行っている。現実的には、町が政策的に整備をする道路、地域からの要望に基づき町が整備する道路があるので、いずれの場合も道路整備の客観的な採択基準を設けて適正な評価を行ったうえで、優先順位など、組織として意思決定をする仕組みを構築することが必要と考えている。また、現在その関係規定の整備等もあわせて検討しているところである。

## 溜漕教育長

人材作りについても精一杯やっていくのが、私の職責であろうかと思っ

ている。現在、甲佐高校と年に5、6回ほど会合を設けて、甲佐高校を魅力ある高校にして欲しいと申し入れもしているところであり、高校の方も精一杯頑張っている。そういう教育の町づくりが、将来の甲佐を担っていく人材育成につながっていくのでその点も含めて頑張りたい。

## 学校教育の問題について

北畑議員

甲佐町には高校があり、

井 芹 し ま 子 議 員

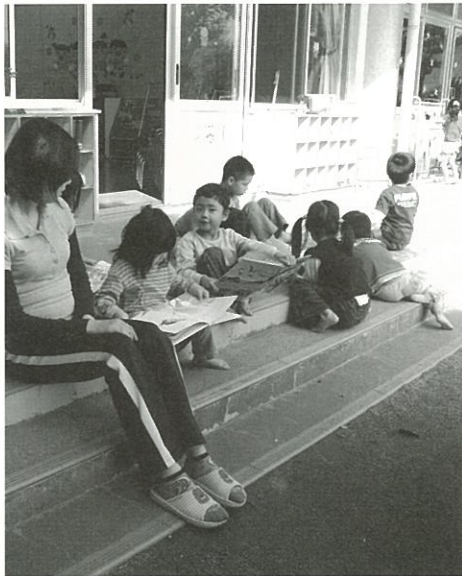


健診制度の拡充で  
受診率の向上を

井芹議員

厳しい経済不況や雇用悪化の中でどう町民の命と健康を守っていくのか、その要である町民健診の問題について次の点を聞きたい。

医療費の増加は国保料



妊婦健診

値上げの議論に直結する。医療費が増えていると聞くが、その分析と対策は。福永住民生活課長

この3年間の医療給付費は少しの増加にとどまっている。医療費の傾向として高血圧、高脂血症、糖尿病が多い。また、重症化して、医療コストが高い慢性腎不全や脳梗塞（回復期のリハビリ含む）、骨折での入院等が増加しないよう、予防のポイントである食生活と運動など適切な保健指導に努めたいと考えている。井芹議員

町民健診の受診率が3割を切るなど非常に低い。

病気の早期発見、早期治療によって重症化を防ぐ事は町民の健康を守る上でも町の財政にとっても大事なことである。受診率向上の対策は。福永住民生活課長

特定健診の保健指導に重点を置いている。今後、委託を含めきめ細かい指導で今後につなげたい。井芹議員

町の医療費給付費の中でも多い糖尿病等、生活習慣病の予防には食生活の改善が欠かせない。今後、栄養士の配置等をして保健指導を充実させるべきではないか。福永住民生活課長

以前は栄養士を配属していたが、現在は在宅で管理栄養士の免許を持っている方に活動してもらっている。

井芹議員

これまでの節目健診の対象年齢が減らされている。特に学齢期の子供さんを持つ親の健康は大事だ。統計的にも35歳から病气も非常に増えている。これまでのように35歳を復活し、30歳から節目健診を実施すべきでは。また、家計の格差を命

の格差にしてはならない。誰もが安心して健診を受けられるよう、低所得者等に対して健診費用の軽減を図るべきでは。奥名町長

低所得者への健診負担の軽減、節目健診の問題など、健診制度の拡充については、方法論も含め、検証する必要があると考える。今後の検討課題として受け止めたい。

小規模工事等登録制度  
の上限引き上げは

井芹議員

この制度は、入札資格をもたない町内の中小業者の経営の安定と町内経済活性化のために設けられた制度だが、工事の限度額は30万円である。現在の不況下での経済

対策としても上限額の引き上げをすべきでは。奥名町長

町内の指名業者は11社だが、そのうちDランクの事業者については、500万未満の工事にしか入札参加が出来ない。建築、土木を問わず経営自己審査を受審した上で指名願いを提出されている。



道路工事

経営審査を受けたところとそうでないと区別をせざるを得ない。指名審査会でも金額の見直しの協議がされたが従来どおりとなった。

住宅リフォーム助成  
制度創設は

井芹議員

リフォーム助成は一般住宅工事への助成制度であるが、経済効果が大きいとして全国的にも広がっている。この制度に対する町長の考えは。奥名町長

個人の固定資産の増加に対して行うこの制度については公平性に欠ける面もあるのではないかと考える。そのような背景から現在の段階での新規

制度の導入は考えていない。

観光事業の推進は

井芹議員

本町の観光での集客は平成12年をピークに減少の一途である。地場産業や自然を活かした観光地づくりのため町民を巻き込んだ議論を進めるべきでは。奥名町長

単純に施設を配置しただけでは甲佐に来てもらうことは難しい。ちょっとしたアイデアで町の活性化につながっている先進事例もある。他町のそうした先進事例に学びながら本町独自の観光施設開発につなげたい。

# 宮本 修治 議員



## ろくじ館の運営について

宮本議員

3月議会の一一般質問に對しての、その後の取り組みは。

本田産業振興課長

ろくじ館の運営については、誰でも出品できる体制や、町民が潤い、使い勝手の良い手法はないか、課内で事前打ち合わせを行い、青空市場運営委員会に申し入れの形で協議を行った。

現在、レジスターを使って登録がなされている。それが90名程度登録されるといことで、現在83名の方が登録され、残りが少ないということで、新たに出品するのが難しいということである。

事務局案としては、

バーコードによる登録制度は考えられないか、協議をお願いしている。

また、費用の面については、今後検討するということに進めている。

厨房利用については、

町が、特産品開発を進めていく中で、加工品等の試作品作りに活用できればと思っている。

## 産業後継者育成対策事業について

宮本議員

この中の結婚対策事業について、今後のスケジュール等は。

本田産業振興課長

結婚活動の応援事業は、産業後継者の独身の方で、年齢は50歳までということに進めていきたい。

広報手段として、リビングくまもと、熊日のすばいす、それと、町の広報誌とインターネット等を利用して呼びかけをしたい。

交流会については、8月に第1回目のふれあい交流会、第2回目は、11月頃に計画している。

奥名町長

後継者が甲佐町に根付いていただくような手立てを考え、この出会い事業の制度によって、より多くのカップルが誕生してほしいと期待している。

## 学校教育のあり方について

宮本議員

現在の不登校生の、は握について。また、その生徒たちが、非行に走る前に未然に防ぐ防止策はどう考えておられるか。

伊豆野学校教育課長

不登校の生徒は、1年生にはいないが、2年生、3年生で10名いる。

その中で、5名の生徒が学校に来ることが難しく、残りの5名の生徒は、保健室やカウンセラー室までではあるが、登校するようになっていく。

溜瀝教育課長

現在、非行に走ったり、補導された生徒はいない。不登校の問題は、今の小中学生については、我慢や忍耐、人の痛みを知るといった精神的な強さというものが、弱くなっていると思う。

そういうことを踏まえ、自然体験学習、あるいは、道場の武道を体験するような事例を通じ、精神的にも肉体的にもたくましくなるよう、学校と協議しながら、子どもの育成をしていきたい。

自然体験学習、あるいは、道場の武道を体験するよう

## 職員採用、研修について

宮本議員

職員において、病氣、体調不良による休みがちな職員が多いと聞いているが、その予防対策は。

甲斐総務課長

職員の疾病予防対策ということで、専門の精神科医を招き、「職場におけるメンタルヘルス」と題して、心理相談とか職場の物理的環境、対人関係などの心理的環境の整備などの講演を行った。

奥名町長

職員採用について、来年度は、行政職枠を撤廃し、高卒程度の一般事務や土木の技術職枠を設け、地元



水泳の練習をする子ども達

## 住みよい町づくりの計画について

宮本議員

将来を担う、小中学生の意見を反映できる子ども議会の開催ができないものか。

奥名町長

本町発展のためには、先人の業績、あるいは、すばらしい環境を未来に生かす子ども達へ引き継いでいく、ということは、大変重要なことであり、私たちの責任でもある。

本年度から着手する第6次総合計画の策定にあたっては、教育委員会と連携を図りながら、多くの子ども達の意見や考えが反映できるように考えているので、子ども議会の開催については、実現に向け進めていきたい。

# 傍聴席から一言

## 「緑川の価値に視線を向けて」

古閑 世良 暢 将

釣りのシーズンともなると、緑川流域には釣り糸を垂れる太公望の行列が見られました。かつては釣果が期待された田口橋、乙女橋の流域には、日の出前から最適な釣り場を求めて、上に下にと足早に動く釣り人の姿を見かけ、釣り趣味の私の心を弾ませたものです。しかし、最近ではアユ解禁にもかかわらず、友釣りに興ずる釣り人の姿はなく、かつての歓声は淋しく流れる水音に変わり、まさに看過できない現状に危機感を抱いています。

緑川を核とする町の大自然は、格差を生む競争社会の中であって、生活者の心を癒す絶好の場であり、流域に展開するグリーンバル広場、津志田河川自然公園は、緑川の価値に着目し、成功への一歩を踏み出した事業ではないかと思っています。知恵を絞る一例として、津志田河原の桜並木を熊本城などの桜名所に負けない一大桜見の場にて、季節到来と共に「今年の桜見は、心安らぐ緑川がある津志田河原にしよう。」というかけ声が耳に届くような事業の検討をしてはどうかと思っています。

町の観光行事の目玉である「鮎まつり」にしても、鮎影の見えない「緑川」の現状を放置すれば、全く実のない空虚な祭り気分となり、その歴史は、いずれ終止符を打つことになるのではないのでしょうか。

行政側も人・物・金等、諸種の制約はあろうかと思いますが、緑川の価値を真剣に受け止め、分散投資を極力排し、一点に集中した意欲ある取り組みが望まれます。

# 平成21年度第2回臨時議会

平成21年6月30日に、平成21年第2回臨時議会を開催した。

### ○工事請負契約の締結について

統合甲佐小学校体育館改築工事についての契約案が提出され、全会一致で可決した。

契約金額 3億1895万1150円  
 契約の相手方 熊本県八代市迎町2丁目9号10番地  
 和久田建設株式会社  
 代表取締役 和久田 数臣

契約の方式 一般競争入札

### ○財産の取得について

小・中学校パソコン教室用備品の取得について、全会一致で可決した。

種類等 パソコン、管理用サーバー、プリンター、ソフトウェアなど

取得の価格 2152万5000円  
 契約の相手方 甲佐町大字白旗2182番地  
 株式会社 オフィス・ナインティーン  
 甲佐支店

支店長 高崎 徹

### ○財産の取得について

総合行政ネットワーク(LGWAN)等接続環境再構築事業による関連機器の取得について、全会一致で可決した。

種類等 総合行政ネットワーク(LGWAN)等  
 接続環境再構築関連機器

取得の価格 1738万1259円

契約の相手方 熊本市紺屋今町9番6号

熊本紺屋今町ビル  
 株式会社 富士通エフサス 熊本支店  
 支店長 池田 一彦

### ○平成21年度甲佐町一般会計補正予算(第2号)

国の第1次補正分(地域活性化・経済危機対策臨時交付金 1億8603万3000円)を主な財源として、2億5909万1000円を増額し、49億2841万8000円とする補正予算を全会一致により可決した。

その内容として、

- ・ 公共施設等環境対策事業 2818万5000円
- ・ 町道安全対策事業 6200万円
- ・ 防災拠点施設改修事業 6730万円
- ・ 農林業用施設整備事業 1940万円
- ・ 地域商業活性化対策事業 200万円
- ・ 学校情報通信技術環境整備事業 4504万円
- ・ スポーツ施設改修事業 3516万6000円

## 編集後記

6月定例会や第2回臨時議会の前後に田植えもほとんど済んだようです。

早苗(なまこ)も終え、農家の方も秋の収穫を心待ちにし、水管理などを行っていかれると思います。雨が降らなかつたら困るし、降りすぎたら災害に繋がります。

自然は、人の思うよ

うにはならないものですが、それに合わせて対応していく知恵はあります。

国からの臨時交付金についても、今後の町政に十分活かされることを望むものです。

議会広報編集特別委員会  
 委員長 本田 新  
 副委員長 本郷 昭宣  
 委員 緒方 哲哉  
 委員 宮川 安明  
 委員 井芹 しま子